

ナカバヤシアリサ|Nakabayashi Arisa

1992年 東京都新宿区に生まれる

2017年 多摩美術大学 美術学部絵画学科 油画専攻 卒業

主な個展

2019年 「Cross Section Portrait」 / LAUNCH PAD GALLERY / 横浜

2022年 「静かなる森」 / BankART Under35 2022 / 横浜 2023年 「A地点から」 / ビーク585 ギャラリー / 大阪

2023年 「指先を見る」 / KATSUYA SUSUKI GALLERY / 目黒 2024年 「Days to come」 / 宝蔵巖国際芸術村 / 台北 2024年 「縮図の拡大図」 / ギャラリーヴァールール / 愛知

2024年 「Days to come」 / 横濱ゲートタワー 1F Start Gallery 2+4 / 横浜 2024年 「project N」 / 東京オペラシティ / 新宿

2025年 「scope」 / Gallery TK2 / 日本橋

主なグループ展

2015年 2016年 2022年 2023年 2023年 2023年 2023年 2024年

「メンヘラ展 special」 / TAV GALLERY / 阿佐ヶ谷 トーキョーワンダーシード / トーキョーワンダーサイト / 渋谷 Idemitsu Art Award 展 2022 / 国立新美術館 / 六本木

FACE 展 2023 / SOMPO 美術館 / 新宿

Now You Know!Vol.3 / Whimsy Works Gallery / 台北 WHAT CAFÉ EXHIBITION vol.25 / WHAT CAFE / 天王洲 face to face Vol.III / Bunkamura Gallery 8 / 渋谷

KONSHIN / gallery UG Tennoz / 天王洲

レジデンス

2019年 BankART AIR 2019 / BankART Station / 横浜 2024年 AIR 台北 / 宝蔵巖国際芸術村 / 台北

主な受賞歴

2016年 トーキョーワンダーシード 入選

2022年 BankART Under35 選出

2022年 Idemitsu Art Award 青木恵美子審査員賞 受賞 2022年 FACE 2023 入選

ステートメント

抽象はより生々しい現実なのか。

絵画なのか滲み(にじみ)なのか。

ナカバヤシはスムーズな支持体の上に、オートマティズムと素早いブラシストロークで森

や川にも見える滲みのようなものを描く。

道に出ないようにと不自然にカットされた街路樹は誰もその声に耳を傾けてもらえなかった彼女に、庭園を流れる水は人から守られ暗闇を出ることのない彼に、一見すると風景画にも見える絵が生々しい人々のリアルとして表現されている。

そこに描かれたものは、鑑賞者のバックグラウンドや世の中の課題によってたえず変化し、絵画の身体を経験させ他人の痛みを想像させる装置となり得る。

私は幼い頃から日本という国で女性として生きてきて、癒しがたい肉体の苦しみを感じてきた。

その傷を癒すための作業なのか、それとも今助けを求めている人に手を差し伸べるためなのか。

どちらかだけということはないはずだ。そんな自分の世界を物質化する行為は、誰かを理解する術であり、社会との繋がりにもなっている。